

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース／Bコース

運用報告書(全体版)

第35期（決算日2024年8月22日）

作成対象期間（2024年2月23日～2024年8月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Aコース	Bコース
商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2006年8月28日から2026年8月24日までです。	
運用方針	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として世界のプレミアム・ブランド企業の株式に投資し、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。 実質組入外貨建資産については、原則として、現地通貨による為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。	
主な投資対象	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。 世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース/Bコース マザーファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として、繰越分を含めた配当等収益と売買益等から基準価額水準等を勘案して分配します。 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

●サポートダイヤル

0120-753104（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

<Aコース>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期(2022年8月22日)	16,884	750	△4.9	38,913.19	△7.5	99.9	—	16,152
32期(2023年2月22日)	16,603	700	2.5	35,144.90	△9.7	97.7	—	14,001
33期(2023年8月22日)	15,667	600	△2.0	38,299.62	9.0	98.4	—	11,446
34期(2024年2月22日)	16,029	600	6.1	41,742.37	9.0	97.6	—	8,053
35期(2024年8月22日)	14,514	450	△6.6	41,615.36	△0.3	94.9	—	5,421

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円ヘッジベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自にヘッジコストを考慮して、円換算したものです。

* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所：MSCI、ブルームバーグ）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2024年2月22日	円	%		%	%	%
	16,029	—	41,742.37	—	97.6	—
2月末	16,340	1.9	42,619.09	2.1	98.4	—
3月末	16,269	1.5	43,135.42	3.3	97.5	—
4月末	15,671	△2.2	42,004.56	0.6	97.8	—
5月末	15,357	△4.2	40,866.35	△2.1	97.8	—
6月末	15,276	△4.7	42,346.73	1.4	98.1	—
7月末	14,880	△7.2	41,363.92	△0.9	93.9	—
(期末) 2024年8月22日	14,964	△6.6	41,615.36	△0.3	94.9	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

〈Bコース〉

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
31期(2022年8月22日)	20,064	1,000	6.6	48,409.04	8.1	99.0	—	23,159
32期(2023年2月22日)	20,061	1,000	5.0	44,396.13	△ 8.3	97.7	—	21,714
33期(2023年8月22日)	20,969	1,000	9.5	53,322.45	20.1	98.5	—	21,237
34期(2024年2月22日)	22,257	1,100	11.4	61,312.08	15.0	97.5	—	19,086
35期(2024年8月22日)	19,820	1,000	△ 6.5	61,030.12	△ 0.5	97.9	—	14,410

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 参考指数（＝MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース））は、MSCI World Consumer Discretionary Index（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。

* MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

（出所：MSCI、ブルームバーグ）

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2024年2月22日	円	%		%	%	%
	22,257	—	61,312.08	—	97.5	—
2月末	22,724	2.1	62,669.80	2.2	97.8	—
3月末	22,718	2.1	63,920.89	4.3	97.5	—
4月末	22,665	1.8	64,436.45	5.1	96.5	—
5月末	22,402	0.7	63,103.02	2.9	97.7	—
6月末	22,848	2.7	67,115.38	9.5	97.7	—
7月末	21,319	△ 4.2	62,688.71	2.2	97.0	—
(期末) 2024年8月22日	20,820	△ 6.5	61,030.12	△ 0.5	97.9	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

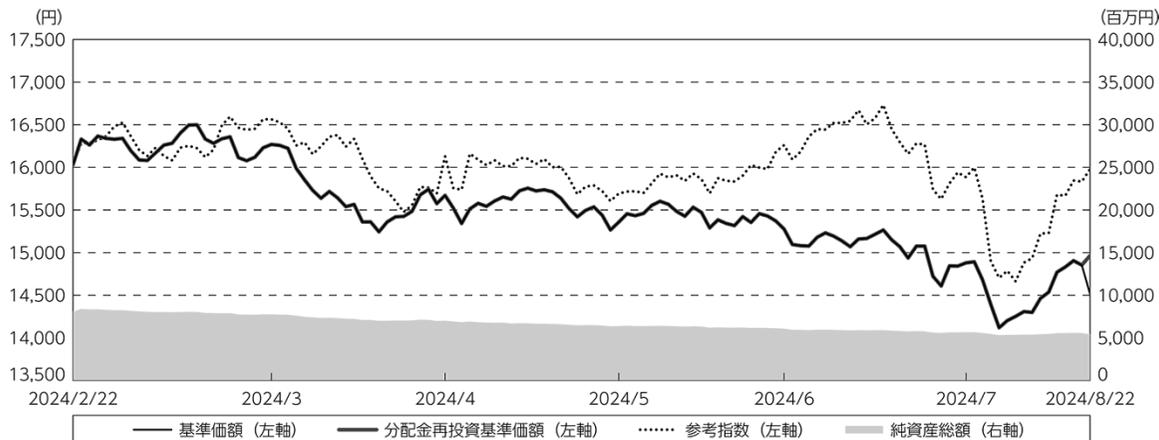
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

<Aコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：16,029円

期 末：14,514円 (既払分配金(税込み)：450円)

騰落率：△ 6.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2024年2月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円ヘッジベース)です。参考指数は、作成期首(2024年2月22日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首16,029円から期末14,514円となりました。

- (横ばい) 2024年3月上旬から中旬にかけ、AI(人工知能)向け半導体の対中国輸出について米国政府が規制を強化するとの観測が高まったこと、下旬に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において経済が好調さを持続するとの見方が示された一方、2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたこと
- (下落) 4月、FRB(米連邦準備制度理事会)関係者の発言などにより早期の利下げ期待が後退したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社が発表した1-3月期の売上高伸び率が鈍化したこと、5月、米総合PMI(購買担当者景気指数)速報値が約2年ぶりの高水準となりインフレへの警戒感が強まったこと

<Aコース>

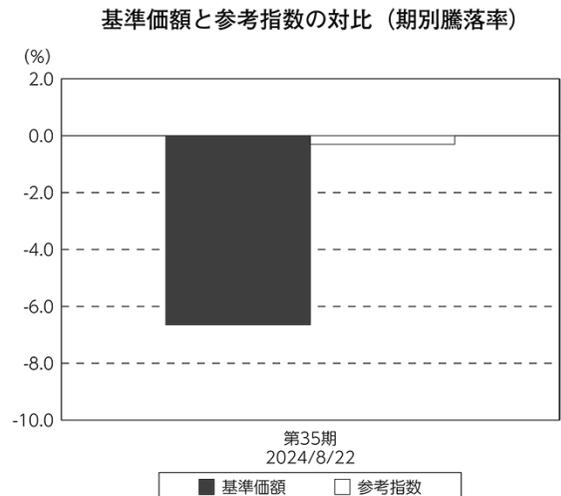
- (横ばい) 6月、5月米CPI(消費者物価指数)や米PPI(生産者物価指数)が市場予想を下回ったこと、アップル社が新しいAI機能を発表し、今後携帯電話の買い替えサイクルを促すとの期待が高まったこと
- (下落) 7月、ロレアル社が中国での需要鈍化を受け、世界美容市場の成長予想を下方修正したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社の4-6月期の売上高が、中国市場の低調が主因となり市場予想を下回ったこと
- (下落) 8月初め、米国経済指標の悪化を受け、リセッション(景気後退)懸念から世界的に株価が大幅下落となったこと
- (上昇) 8月中旬にかけ、米国の失業保険申請件数や7月米小売売上高といった経済指標が市場予想を上回る改善をみせ、過度なりセッション懸念が後退したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円ヘッジベース)の0.3%の下落に対し、基準価額は6.6%の下落となりました。主な差異要因としては、非保有の米国オンライン小売会社株などが上昇したことや、米国のスポーツウェアメーカー株、ドイツのスポーツ用品株、米国の化粧品メーカー株などの保有がマイナスに影響しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円ヘッジベース)です。

<Aコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり450円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第35期
	2024年2月23日～ 2024年8月22日
当期分配金	450
(対基準価額比率)	3.007%
当期の収益	—
当期の収益以外	450
翌期繰越分配対象額	4,513

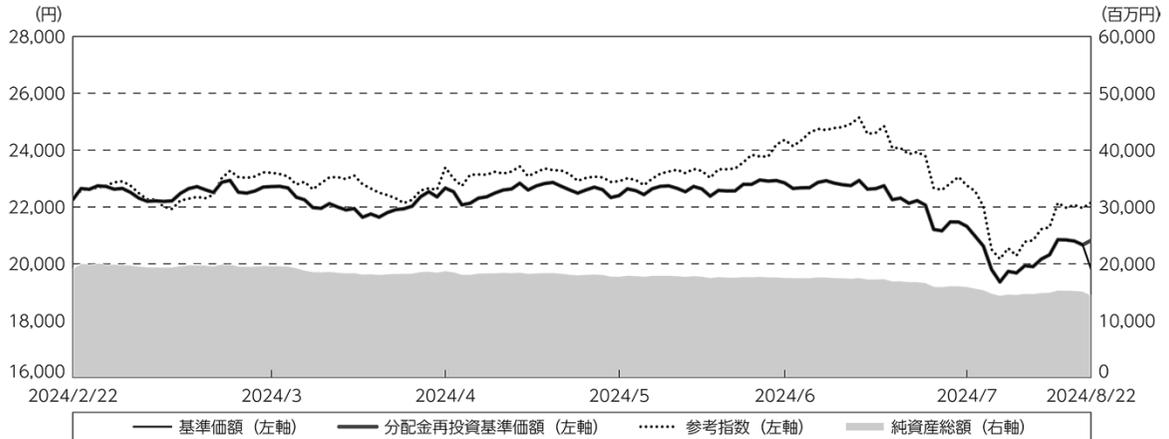
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Bコース>

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：22,257円

期末：19,820円 (既払分配金(税込み)：1,000円)

騰落率：△ 6.5% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首(2024年2月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円換算ベース)です。参考指数は、作成年首(2024年2月22日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首22,257円から期末19,820円となりました。

- (横ばい) 2024年3月上旬から中旬にかけ、AI(人工知能)向け半導体の対中国輸出について米国政府が規制を強化するとの観測が高まったこと、下旬に開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において経済が好調さを持続するとの見方が示された一方、2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたこと
- (下落) 4月、FRB(米連邦準備制度理事会)関係者の発言などにより早期の利下げ期待が後退したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社が発表した1-3月期の売上高伸び率が鈍化したこと、5月、米総合PMI(購買担当者景気指数)速報値が約2年ぶりの高水準となりインフレへの警戒感が強まったこと

<Bコース>

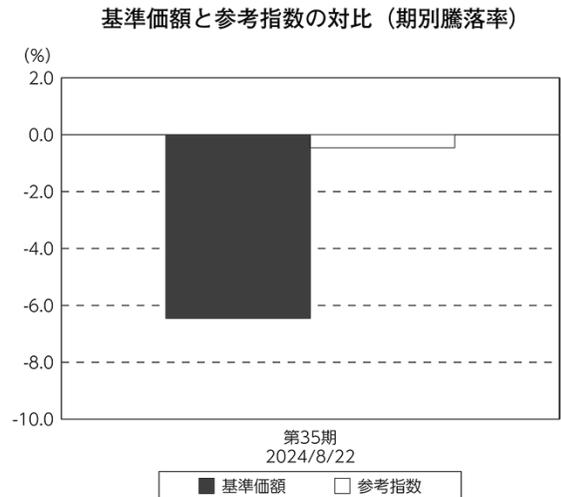
- (横ばい) 6月、5月米CPI(消費者物価指数)や米PPI(生産者物価指数)が市場予想を下回ったこと、アップル社が新しいAI機能を発表し、今後携帯電話の買い替えサイクルを促すとの期待が高まったこと
- (下落) 7月、ロレアル社が中国での需要鈍化を受け、世界美容市場の成長予想を下方修正したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社の4-6月期の売上高が、中国市場の低調が主因となり市場予想を下回ったこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高が進んだこと
- (下落) 8月初め、米国経済指標の悪化を受け、リセッション(景気後退)懸念から世界的に株価が大幅下落となったこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高が進んだこと
- (上昇) 8月中旬にかけ、米国の失業保険申請件数や7月米小売売上高といった経済指標が市場予想を上回る改善をみせ、過度なリセッション懸念が後退したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円換算ベース)の0.5%の下落に対し、基準価額は6.5%の下落となりました。主な差異要因としては、非保有の米国オンライン小売会社株などが上昇したことや、米国のスポーツウェアメーカー株、ドイツのスポーツ用品株、米国の化粧品メーカー株などの保有がマイナスに影響しました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円換算ベース)です。

<Bコース>

◎分配金

基準価額水準などを勘案し、1万口当たり1,000円の収益分配を行ないました。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第35期
	2024年2月23日～ 2024年8月22日
当期分配金	1,000
(対基準価額比率)	4.803%
当期の収益	—
当期の収益以外	1,000
翌期繰越分配対象額	9,820

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Aコース/Bコース>

○投資環境

世界の株式市場は、米国の金融政策の先行き不透明感や中国景気の低迷などを背景に、4月半ばにかけて一時下落基調が強まりましたが、米国でインフレ指標の落ち着きなどがみられたことから、FRBによる年内複数回の利下げ期待が強まり反発しました。しかし、7月中旬から下旬にかけては、米国政府が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたことなどから下落に転じました。その後、8月初めに米国経済指標の悪化からリセッション懸念が強まり、世界的に株価が大幅下落となりましたが、当作成期末にかけてはこうした懸念が後退し反発しました。

為替市場では、当作成期初から7月までは、日米金利差などを背景に、円は対米ドル、対ユーロで下落基調となりました。しかし、7月末に日本銀行が無担保コール翌日物金利の誘導目標を引き上げたことや、米国の利下げ観測が強まったことなどから、円は対米ドル、対ユーロで上昇し、当作成期末の為替レートは、米ドル円が145円台、ユーロ円が162円台となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース] および [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース] は、主要投資対象である [野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド]

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。
※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。
- (2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行ない、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。
- (3) 個別銘柄の売買については、デッカーズ・アウトドア株（米国・靴メーカー）やガルデルマ・グループ株（スイス・製薬会社）などを新規に買い付けました。一方、ケイマン諸島籍の靴・衣料品メーカー株やドイツのスポーツ用品メーカー株などの全株売却を行ないました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

<Aコース/Bコース>

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、実質外貨建資産に対して対円での為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図りました。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース]

・株式組入比率

実質株式組入比率は、期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの運用の基本方針に従い、為替ヘッジを行ないませんでした。

◎今後の運用方針

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド]

足もとでは欧州と米国の政治経済に対する先行き不透明感が高まっていることや、ウクライナや中東情勢などの地政学的リスクが依然として残っていることなどから、株式市場は短期的に大きく変動する可能性があり、引き続き警戒が必要であると考えます。一方、世界的な旅行需要は引き続き堅調であることや、中国から海外旅行に出掛ける動きが本格的に再開されつつあることはプレミアム・ブランド企業の業績にプラス材料となると期待されます。また、ECB（欧州中央銀行）やFRBによる金融緩和方向への政策スタンスの変更は消費者心理の改善につながると期待され、今後スポーツ関連や化粧品関連企業などの業績回復期待が高まるものと考えています。

中長期的な成長性への見方に変更はありません。プレミアム・ブランド商品やサービスに対する需要は、中国をはじめとした新興国の消費者の購買力の高まりや、女性の社会進出、富裕層の富の増大などが後押しとなり、今後も中長期的に、持続的な拡大が期待できると考えます。また、プレミアム・ブランド企業は非常に差別化された製品やサービスを提供し、顧客から厚い信頼を寄せられており、業績面の安定性の確度は高いと考えます。

ファンドの運用に際しては、消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行なっていく方針です。特に、最高品質の製品、類似希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。潜在的な成長力を考慮すると、足もとのバリュエーション（投資価値評価）水準は魅力的であると考えています。

<Aコース/Bコース>

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース]

主要投資対象である〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを目指します。

[野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース]

主要投資対象である〔野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Aコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月23日～2024年 8 月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	145	0.930	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(77)	(0.492)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(60)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(9)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.023	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(4)	(0.023)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.016	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(3)	(0.016)	
(d) そ の 他 費 用	5	0.034	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	157	1.003	
期中の平均基準価額は、15,632円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

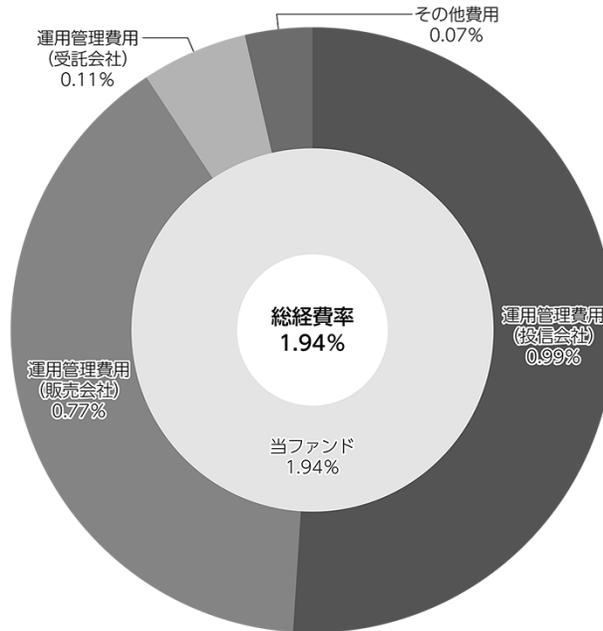
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Aコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Aコース>

○売買及び取引の状況

(2024年2月23日～2024年8月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 143,696	千円 924,641	千口 538,656	千円 3,495,400

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年2月23日～2024年8月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	14,623,098千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,429,319千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.59	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月23日～2024年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 1,246,887	千口 851,927	千円 5,185,510

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

<Aコース>

○投資信託財産の構成

(2024年8月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	5,185,510	91.4
コール・ローン等、その他	485,465	8.6
投資信託財産総額	5,670,975	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(20,498,864千円)の投資信託財産総額(20,755,888千円)に対する比率は98.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.41円、1英ポンド=190.33円、1スイスフラン=170.65円、1ユーロ=162.07円、1香港ドル=18.66円、1ランド=8.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,695,969,728
コール・ローン等	26,307,510
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(詳細額)	5,185,510,377
未収入金	5,484,151,671
未収利息	170
(B) 負債	5,274,613,442
未払金	5,025,286,384
未払収益分配金	168,090,380
未払解約金	18,835,324
未払信託報酬	62,291,491
その他未払費用	109,863
(C) 純資産総額(A-B)	5,421,356,286
元本	3,735,341,779
次期繰越損益金	1,686,014,507
(D) 受益権総口数	3,735,341,779口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,514円

(注) 期首元本額は5,024,404,948円、期中追加設定元本額は137,147,939円、期中一部解約元本額は1,426,211,108円、1口当たり純資産額は1.4514円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額85,205,760円。(野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2024年2月23日~2024年8月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	36,278
受取利息	36,853
支払利息	△ 575
(B) 有価証券売買損益	△ 338,945,672
売買益	471,197,679
売買損	△ 810,143,351
(C) 信託報酬等	△ 62,466,151
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 401,375,545
(E) 前期繰越損益金	109,586,179
(F) 追加信託差損益金	2,145,894,253
(配当等相当額)	(915,810,637)
(売買損益相当額)	(1,230,083,616)
(G) 計(D+E+F)	1,854,104,887
(H) 収益分配金	△ 168,090,380
次期繰越損益金(G+H)	1,686,014,507
追加信託差損益金	2,015,157,290
(配当等相当額)	(785,199,398)
(売買損益相当額)	(1,229,957,892)
分配準備積立金	72,232,762
繰越損益金	△ 401,375,545

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Aコース>

(注) 分配金の計算過程 (2024年2月23日～2024年8月22日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年2月23日～ 2024年8月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,744,518,708円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	109,586,179円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,854,104,887円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	4,963円
g. 分配金	168,090,380円
h. 分配金(1万円当たり)	450円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	450円
----------------	------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。

<変更適用日：2024年7月4日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間は以下の記載のとおり変更となる予定です。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

<Bコース>

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 2 月23日～2024年 8 月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	209	0.930	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(111)	(0.492)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(86)	(0.383)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.055)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	5	0.024	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(5)	(0.024)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	4	0.016	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(4)	(0.016)	
(d) そ の 他 費 用	8	0.034	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.033)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	226	1.004	
期中の平均基準価額は、22,446円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

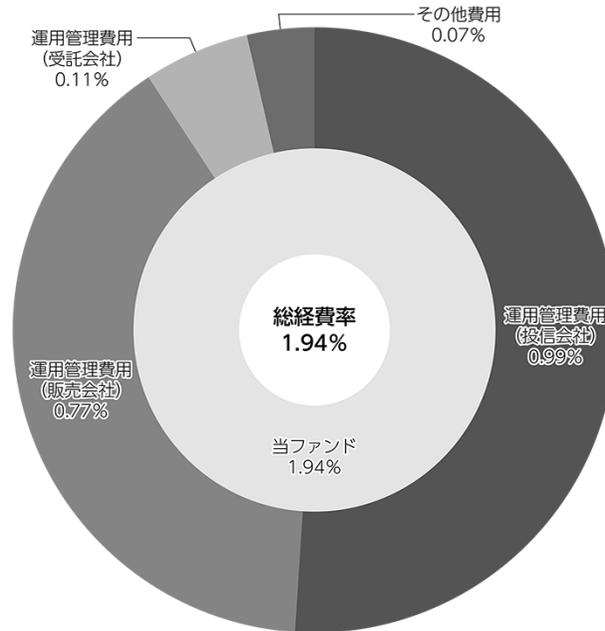
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

<Bコース>

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.94%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 当ファンドのその他費用には、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託事務の処理に要するその他の諸費用等が含まれます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

<Bコース>

○売買及び取引の状況

(2024年2月23日～2024年8月22日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 207,671	千円 1,359,253	千口 823,604	千円 5,259,300

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2024年2月23日～2024年8月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	14,623,098千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	24,429,319千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.59	

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2024年2月23日～2024年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月22日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	千口 2,953,113	千口 2,337,180	千円 14,225,948

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

＜Bコース＞

○投資信託財産の構成

(2024年8月22日現在)

項目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド	14,225,948	92.3
コール・ローン等、その他	1,193,598	7.7
投資信託財産総額	15,419,546	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（20,498,864千円）の投資信託財産総額（20,755,888千円）に対する比率は98.8%です。

*外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.41円、1英ポンド=190.33円、1スイスフラン=170.65円、1ユーロ=162.07円、1香港ドル=18.66円、1ランド=8.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月22日現在)

項目	当 期 末
	円
(A) 資産	15,419,546,193
コール・ローン等	148,596,826
野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド(評価額)	14,225,948,404
未収入金	1,045,000,000
未収利息	963
(B) 負債	1,008,680,987
未払収益分配金	727,081,880
未払解約金	115,073,606
未払信託報酬	166,232,217
その他未払費用	293,284
(C) 純資産総額(A-B)	14,410,865,206
元本	7,270,818,803
次期繰越損益金	7,140,046,403
(D) 受益権総口数	7,270,818,803口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,820円

(注) 期首元本額は8,575,549,536円、期中追加設定元本額は517,465,266円、期中一部解約元本額は1,822,195,999円、1口当たり純資産額は1.9820円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額85,205,760円。(野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド)

○損益の状況 (2024年2月23日～2024年8月22日)

項目	当 期
	円
(A) 配当等収益	74,572
受取利息	75,319
支払利息	△ 747
(B) 有価証券売買損益	△ 892,823,787
売買益	99,909,127
売買損	△ 992,732,914
(C) 信託報酬等	△ 166,525,501
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,059,274,716
(E) 前期繰越損益金	2,912,348,518
(F) 追加信託差損益金	6,014,054,481
(配当等相当額)	(3,581,870,704)
(売買損益相当額)	(2,432,183,777)
(G) 計(D+E+F)	7,867,128,283
(H) 収益分配金	△ 727,081,880
次期繰越損益金(G+H)	7,140,046,403
追加信託差損益金	6,014,054,481
(配当等相当額)	(3,583,150,984)
(売買損益相当額)	(2,430,903,497)
分配準備積立金	2,185,266,638
繰越損益金	△ 1,059,274,716

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含まず。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<Bコース>

(注) 分配金の計算過程 (2024年2月23日～2024年8月22日) は以下の通りです。

項 目	当 期
	2024年2月23日～ 2024年8月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,954,779,765円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,912,348,518円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	7,867,128,283円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	10,820円
g. 分配金	727,081,880円
h. 分配金(1万円当たり)	1,000円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金(税込み)	1,000円
----------------	--------

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金(特別分配金)となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金(特別分配金)となります。

○お知らせ

投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する必要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日：2024年7月4日>

2024年11月5日より、ファンドの設定解約の申込締切時間は以下の記載のとおり変更となる予定です。

原則、午後3時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。

(販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。)

野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド マザーファンド

運用報告書

第18期（決算日2024年8月22日）

作成対象期間（2023年8月23日～2024年8月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
主な投資対象	世界のプレミアム・ブランド企業の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。ただし、未上場・未登録の株式（預託証書で株券などの性質を有するものならびに上場、登録予定を除く。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント株式会社

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<https://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	円	騰落率	MSCI	騰落率			
14期(2020年8月24日)	29,186	11.5	33,832.94	26.7	98.9	—	百万円 5,642
15期(2021年8月23日)	43,402	48.7	44,058.36	30.2	98.2	—	42,550
16期(2022年8月22日)	48,956	12.8	48,409.04	9.9	99.6	—	39,213
17期(2023年8月22日)	57,316	17.1	53,322.45	10.1	99.2	—	32,436
18期(2024年8月22日)	60,868	6.2	61,030.12	14.5	99.2	—	19,411

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数(=MSCIワールド一般消費財・サービス指数(配当込み・円換算ベース))は、MSCI World Consumer Discretionary Index(現地通貨ベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の対顧客電信売買相場仲値で円換算しております。

*MSCIワールド一般消費財・サービス指数は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所:MSCI、ブルームバーグ)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	MSCI	騰落率		
(期首) 2023年8月22日	57,316	—	53,322.45	—	99.2	—
8月末	58,550	2.2	54,886.14	2.9	97.7	—
9月末	54,595	△ 4.7	52,862.52	△ 0.9	97.2	—
10月末	53,818	△ 6.1	50,425.39	△ 5.4	98.4	—
11月末	57,752	0.8	55,304.07	3.7	98.7	—
12月末	58,313	1.7	56,316.10	5.6	97.5	—
2024年1月末	60,714	5.9	58,125.41	9.0	98.7	—
2月末	65,863	14.9	62,669.80	17.5	98.6	—
3月末	65,942	15.0	63,920.89	19.9	98.0	—
4月末	65,883	14.9	64,436.45	20.8	97.1	—
5月末	65,216	13.8	63,103.02	18.3	98.2	—
6月末	66,610	16.2	67,115.38	25.9	98.0	—
7月末	62,235	8.6	62,688.71	17.6	97.0	—
(期末) 2024年8月22日	60,868	6.2	61,030.12	14.5	99.2	—

*騰落率は期首比です。

*株式組入比率には、新株予約権証券を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首57,316円から期末60,868円となりました。

- (上 昇) 2023年11月、2023年7-9月期の米企業決算において市場予想を上回る決算が相次いだこと、10月の米CPI（消費者物価指数）上昇率が市場予想を下回ったこと、為替市場で対ユーロで円安が進んだこと
- (下 落) 12月、大手物流会社が貨物需要の低迷を背景に業績見通しを引き下げたこと、2024年1月になり中東情勢の先行き不透明感が強まったこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高となったこと
- (上 昇) 1月、1月のミシガン大学消費者マインド指数（速報値）が市場予想を上回ったこと、2023年12月のPCE（個人消費支出）コア価格指数が前年同月比でほぼ3年ぶりの低い伸びとなったこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社が発表した2023年10-12月期決算が市場予想を上回る内容であったこと、中国政府が景気・金融市場のテコ入れ策を相次ぎ発表したこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円安となったこと
- (横ばい) 3月上旬から中旬にかけ、AI（人工知能）向け半導体の対中国輸出について米国政府が規制を強化するとの観測が高まったこと、下旬に開催されたFOMC（米連邦公開市場委員会）において経済が好調さを持続するとの見方が示された一方、2024年の政策金利について3回の利下げ見通しが維持されたこと

- (下 落) 4月、FRB（米連邦準備制度理事会）関係者の発言などにより早期の利下げ期待が後退したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社が発表した1-3月期の売上高伸び率が鈍化したこと、5月、米総合PMI（購買担当者景気指数）速報値が約2年ぶりの高水準となりインフレへの警戒感が強まったこと
- (横ばい) 6月、5月米CPIや米PPI（生産者物価指数）が市場予想を下回ったこと、アップル社が新しいAI機能を発表し、今後携帯電話の買い替えサイクルを促すとの期待が高まったこと
- (下 落) 7月、ロレアル社が中国での需要鈍化を受け、世界美容市場の成長予想を下方修正したこと、LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン社の4-6月期の売上高が、中国市場の低調が主因となり市場予想を下回ったこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高が進んだこと
- (下 落) 8月初め、米国経済指標の悪化を受け、リセッション（景気後退）懸念から世界的に株価が大幅下落となったこと、為替市場で対米ドル、対ユーロで円高が進んだこと
- (上 昇) 8月中旬にかけ、米国の失業保険申請件数や7月米小売売上高といった経済指標が市場予想を上回る改善をみせ、過度なりセッション懸念が後退したこと

○投資環境

世界の株式市場は、ユーロ圏や中国景気の先行き不透明感、米国における国債増発や堅調な景気動向などを受けた高金利環境の長期化懸念などから、期初から2023年10月にかけて下落基調で推移しましたが、米国や欧州でのインフレの沈静化に進展がみられたことや主要中央銀行による早期利下げ期待が高まったことなどから反発しました。その後、米国の金融政策の先行き不透明感や中国景気の低迷などから、4月半ばにかけて一時下落基調が強まりましたが、米国でインフレ指標の落ち着きなどがみられ、FRBによる年内複数回の利下げ期待が強まり反発しました。しかし、7月中旬から下旬にかけては、米国政府が同盟各国に中国向け半導体輸出に関する規制強化を要請し、米半導体メーカーの業績への悪影響が懸念されたことなどから下落に転じました。その後、8月初めに米国経済指標の悪化からリセッション懸念が強まり、世界的に株価が大幅下落となりましたが、期末にかけてはこうした懸念が後退し反発しました。

為替市場では、FRBによる金融政策の先行き不透明感が強まる中、米ドル円レート、ユーロ円レートは影響を受ける展開となりました。2023年12月には米ドル円レートは一時141円台、ユーロ円レートは154円台までそれぞれ円高が進みましたが、その後は日米金利差などを背景に、円は対米ドル、対ユーロで下落基調となりました。しかし、2024年7月末に日本銀行が無担保コール翌日物金利の誘導目標を引き上げたことや、米国の利下げ観測が強まったことなどから、円は対米ドル、対ユーロで上昇し、期末の為替レートは、米ドル円が145円台、ユーロ円が162円台となりました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

(1) 主として世界のプレミアム・ブランド企業※の株式に投資してまいりました。

※プレミアム・ブランド企業とは、流行を創造するデザインや最高品質などに基づくブランド力により、消費者に幸福感、優越感などの感情をもたらすことができる商品・サービス（プレミアム・ブランド商品・サービス）を提供している企業を指します。

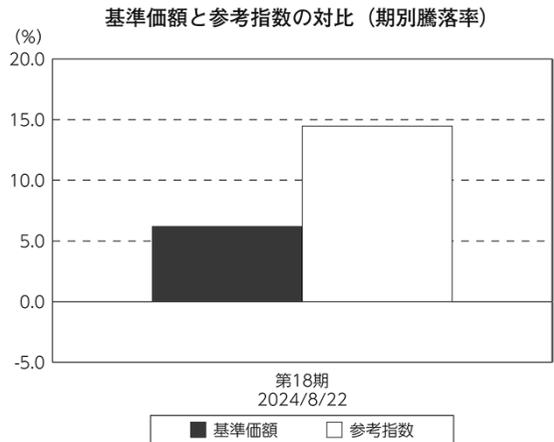
(2) 銘柄選定にあたっては、上記の投資対象企業の中から、ボトムアップ・アプローチによる銘柄選別を行ない、高い成長が期待される企業の株式を選定してまいりました。

(3) 個別銘柄の売買については、デッカーズ・アウトドア株（米国・靴メーカー）やガルデルマ・グループ株（スイス・製薬会社）などを新規に買い付けました。一方、ケイマン諸島籍の靴・衣料品メーカー株やドイツのスポーツ用品メーカー株などの全株売却を行ないました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているMSCIワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）の14.5%の上昇に対し、基準価額は6.2%の上昇となりました。主な差異要因としては、非保有の米国オンライン小売会社株などが上昇したことや、ドイツのスポーツ用品メーカー株やフランスのアルコール飲料メーカー株などの保有がマイナスに影響しました。



(注) 参考指数は、MSCI ワールド一般消費財・サービス指数（配当込み・円換算ベース）です。

◎今後の運用方針

足もとでは欧州と米国の政治経済に対する先行き不透明感が高まっていることや、ウクライナや中東情勢などの地政学的リスクが依然として残っていることなどから、株式市場は短期的に大きく変動する可能性があり、引き続き警戒が必要であると考えます。一方、世界的な旅行需要は引き続き堅調であることや、中国から海外旅行に出掛ける動きが本格的に再開されつつあることはプレミアム・ブランド企業の業績にプラス材料となると期待されます。また、ECB（欧州中央銀行）やFRBIによる金融緩和方向への政策スタンスの変更は消費者心理の改善につながると期待され、今後スポーツ関連や化粧品関連企業などの業績回復期待が高まるものと考えています。

中長期的な成長性への見方に変更はありません。プレミアム・ブランド商品やサービスに対する需要は、中国をはじめとした新興国の消費者の購買力の高まりや、女性の社会進出、富裕層の富の増大などが後押しとなり、今後も中長期的に、持続的な拡大が期待できると考えます。また、プレミアム・ブランド企業は非常に差別化された製品やサービスを提供し、顧客から厚い信頼を寄せられており、業績面の安定性の確度は高いと考えます。

ファンドの運用に際しては、消費者の「羨望的」となるような強力で魅力的なブランド力を確立している企業の中から銘柄を厳選して投資を行っていく方針です。特に、最高品質の製品、類い希なるサービスを提供し、今日の消費市場で重要な鍵の一つであるデジタル戦略に十分取り組んでいる企業に注目しています。同時に、持続的な成長が可能か、また、高い収益性が実現できるかなどについても注目しています。潜在的な成長力を考慮すると、足もとのバリュエーション（投資価値評価）水準は魅力的であると考えています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年8月23日～2024年8月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 24 (24)	% 0.039 (0.039)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	19 (19)	0.031 (0.031)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	36 (36) (0)	0.059 (0.059) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	79	0.129	
期中の平均基準価額は、61,290円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2023年8月23日～2024年8月22日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 26	千円 136,169
	アメリカ	百株 2,257	千米ドル 30,860	百株 5,193	千米ドル 77,644
外	イギリス	254	千英ポンド 961	3,158	千英ポンド 11,091
	スイス	253 (6)	千スイスフラン 3,744 (85)	417	千スイスフラン 8,343
国	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	192	2,538	807	6,244
	イタリア	319	2,853	777	9,614
	フランス	1,127	11,496	1,300	27,488
	オランダ	707	723	1,967	1,998
	スペイン	592	1,458	—	—
	香港	3,711	千香港ドル 22,276	10,000	千香港ドル 45,474

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権証券

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外	スイス	証券 —	千スイスフラン —	証券 —	千スイスフラン —
国				(46,798)	(38)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分です。

○株式売買比率

(2023年8月23日～2024年8月22日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	32,490,090千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	26,813,716千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.21

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2023年8月23日～2024年8月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年8月22日現在)

国内株式

2024年8月22日現在の組入れはございません。

銘 柄		期首(前期末)	
		株 数	
化学			千株
資生堂			26.2
合 計	株 数		26.2
	銘 柄		1

*各銘柄の業種分類は、期首の時点での分類に基づいています。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千米ドル	千円		
AMERICAN EXPRESS CO	394	310	7,650	1,112,433	消費者金融	
APPLE INC	507	245	5,547	806,626	コンピュータ・周辺機器	
BROWN-FORMAN CORP-CL B	456	—	—	—	飲料	
DECKERS OUTDOOR CORP	—	39	3,823	555,968	繊維・アパレル・贅沢品	
DICK S SPORTING GOODS INC	—	68	1,610	234,179	専門小売り	
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	678	276	5,984	870,144	ホテル・レストラン・レジャー	
INTER PARFUMS INC	190	180	2,255	327,926	パーソナルケア用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	217	91	833	121,168	パーソナルケア用品	
LULULEMON ATHLETICA INC	253	53	1,410	205,138	繊維・アパレル・贅沢品	
MARRIOTT INTERNATIONAL-CLA	581	190	4,268	620,731	ホテル・レストラン・レジャー	
NIKE INC-B	684	245	2,060	299,669	繊維・アパレル・贅沢品	
PVH CORP	—	96	994	144,618	繊維・アパレル・贅沢品	
RALPH LAUREN CORPORATION	344	164	2,795	406,503	繊維・アパレル・贅沢品	
STARBUCKS CORP	567	322	2,988	434,590	ホテル・レストラン・レジャー	
TESLA INC	203	110	2,466	358,583	自動車	
TOLL BROTHERS INC	—	23	336	48,930	家庭用耐久財	
ULTA BEAUTY INC	105	20	784	114,101	専門小売り	
VISA INC-CLASS A SHARES	454	269	7,237	1,052,386	金融サービス	
ON HOLDING AG-CLASS A	497	493	2,144	311,760	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	6,137 15	3,201 18	55,191 —	8,025,462 <41.3%>	
(イギリス)			千英ポンド			
DIAGEO PLC	1,060	450	1,121	213,435	飲料	
BURBERRY GROUP PLC	1,320	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品	
INTERCONTINENTAL HOTELS GROUP PLC	1,358	385	2,878	547,800	ホテル・レストラン・レジャー	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,739 3	835 2	3,999 —	761,236 <3.9%>	
(スイス)			千スイスフラン			
CHOCOLADEFABRIKEN LINDT-PC	5	4	5,420	924,965	食品	
CIE FINANCIERE RICHEMONT-BR A	704	338	4,615	787,652	繊維・アパレル・贅沢品	
GALDERMA GROUP AG	—	210	1,701	290,372	医薬品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	710 2	553 3	11,737 —	2,002,991 <10.3%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
ADIDAS AG	340	261	5,681	920,735	繊維・アパレル・贅沢品	
PUMA SE	535	—	—	—	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	876 2	261 1	5,681 —	920,735 <4.7%>	
(ユーロ…イタリア)						
BRUNELLO CUCINELLI SPA	196	201	1,791	290,379	繊維・アパレル・贅沢品	
FERRARI NV	314	164	7,077	1,146,988	自動車	
MONCLER SPA	946	634	3,524	571,253	繊維・アパレル・贅沢品	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	1,457 3	1,000 3	12,393 —	2,008,621 <10.3%>	
(ユーロ…フランス)						
LOREAL-ORD	222	138	5,389	873,505	パーソナルケア用品	
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUITTON SE	112	34	2,366	383,505	繊維・アパレル・贅沢品	
PERNOD RICARD SA	331	100	1,259	204,063	飲料	
REMY COINTREAU	101	131	955	154,863	飲料	
HERMES INTERNATIONAL	37	29	6,440	1,043,751	繊維・アパレル・贅沢品	
KERING SA	74	57	1,487	241,073	繊維・アパレル・贅沢品	

銘柄	株数	株数	期末		業種等
			評価額	比率	
(ユーロ…フランス)	百株	百株	千ユーロ	千円	ホテル・レストラン・レジャー ヘルスケア機器・用品
ACCOR SA	749	1,090	3,904	632,795	
ESSILORLUXOTTICA	401	274	5,844	947,226	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	2,030 8	1,857 8	27,647 -	4,480,785 <23.1%>
(ユーロ…オランダ)					飲料
DAVIDE CAMPARI-MIRANO NV	3,500	2,240	1,801	291,930	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	3,500 1	2,240 1	1,801 -	
(ユーロ…スペイン)					パーソナルケア用品
PUIG BRANDS SA-B	-	592	1,454	235,677	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	- -	592 1	1,454 -	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	7,864 14	5,952 14	48,977 -	7,937,750 <40.9%>
(香港)			千香港ドル		繊維・アパレル・贅沢品 繊維・アパレル・贅沢品 繊維・アパレル・贅沢品
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	2,822	-	-	-	
PRADA SPA	1,617	3,427	18,694	348,835	
SAMSONITE INTERNATIONAL SA	10,149	4,872	9,735	181,668	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	14,588 3	8,299 2	28,429 -	530,503 <2.7%>
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	33,039 37	18,843 39	- -	19,257,943 <99.2%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国新株予約権証券

2024年8月22日現在の組入れはございません。

銘柄	株数	期首(前期末)	
		証券数	比率
(スイス)			
CIE FINANCIERE RICHEMO-CW23		証券	46,798
合計	証券 銘柄数	証券 数	46,798 1

○投資信託財産の構成

(2024年8月22日現在)

項目	期末	
	評価額	比率
株式	千円	%
コール・ローン等、その他	19,257,943	92.8
投資信託財産総額	1,497,945	7.2
	20,755,888	100.0

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 当期末における外貨建純資産 (20,498,864千円) の投資信託財産総額 (20,755,888千円) に対する比率は98.8%です。

* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=145.41円、1英ポンド=190.33円、1スイスフラン=170.65円、1ユーロ=162.07円、1香港ドル=18.66円、1ランド=8.14円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年8月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	21,847,724,682
コール・ローン等	1,417,566,910
株式(評価額)	19,257,943,208
未収入金	1,162,511,043
未収配当金	9,702,173
未収利息	1,348
(B) 負債	2,436,310,900
未払金	1,141,310,900
未払解約金	1,295,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	19,411,413,782
元本	3,189,107,377
次期繰越損益金	16,222,306,405
(D) 受益権総口数	3,189,107,377口
1万口当たり基準価額(C/D)	60,868円

(注) 期首元本額は5,659,226,077円、期中追加設定元本額は1,625,587,754円、期中一部解約元本額は4,095,706,454円、1口当たり純資産額は6.0868円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Bコース 2,337,180,194円
 ・野村ピクテ・プレミアム・ブランド・ファンド Aコース 851,927,183円

○損益の状況 (2023年8月23日～2024年8月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	344,669,759
受取配当金	328,820,543
受取利息	12,423,179
その他収益金	3,466,649
支払利息	△ 40,612
(B) 有価証券売買損益	1,668,904,512
売買益	4,574,233,371
売買損	△ 2,905,328,859
(C) 保管費用等	△ 16,448,063
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,997,126,208
(E) 前期繰越損益金	26,776,944,497
(F) 追加信託差損益金	8,006,239,246
(G) 解約差損益金	△20,558,003,546
(H) 計(D+E+F+G)	16,222,306,405
次期繰越損益金(H)	16,222,306,405

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

- ①運用の外部委託先であるピクテ・アセット・マネジメント・リミテッドおよびピクテ・アセット・マネジメント・エス・エイに運用の権限委託する範囲を「株式(主として海外株式)の運用」から「株式(主として海外株式)および為替等の運用」に変更する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日: 2023年11月17日>
- ②投資信託約款に規定している委託者が行なう公告を掲載する当社ホームページのアドレスを「<http://www.nomura-am.co.jp/>」から「<https://www.nomura-am.co.jp/>」に変更する所要の約款変更を行ないました。
 <変更適用日: 2024年7月4日>